

資料1

建築・都市整備・道路委員会
平成24年7月20日
道 路 局

## 道路・河川等の整備状況について

平成24年7月20日  
道 路 局

## ■目 次

1	道路・河川等の整備の基本的な考え方	1
2	道路の整備状況について	2
(1)	横浜環状道路等の整備	2
ア	横浜環状南線・横浜湘南道路	3
イ	横浜環状北線	4
ウ	横浜環状北西線	5
(2)	幹線道路の整備	6
ア	都市計画道路の整備	7
イ	国道の整備	8
ウ	鉄道と道路の立体交差化	8
エ	金沢シーサイドラインの延伸	8
(3)	橋りょうの整備	9
ア	橋りょうの地震対策	9
イ	老朽橋の架替え	10
ウ	橋りょうの長寿命化	11
3	河川等の整備状況について	12
(1)	計画28河川の改修	12
ア	護岸等の整備	13
イ	河川遊水地等の整備	14

## 1 道路・河川等の整備の基本的な考え方

道路や河川は、豊かで良好な市街地の形成を図り、安全で安心な市民生活と快適で機能的な都市活動を支える最も重要な都市基盤施設です。少子高齢社会が進展する中、災害対応力の強化などにより、市民の皆様の安全と安心を守り、活力ある経済活動を推進するとともに、地球規模での環境問題に対処し、美しく潤いのある都市環境を創出するためには、道路・河川の整備を推進することが重要です。

また、道路・河川の整備を推進するにあたっては、非常に厳しい予算状況にあるため、整備効果が高く、早期に効果が現れる事業などを中心に、選択と集中を図ることが必要です。

道路整備については、本市の幹線道路の整備状況は大都市の中でも最低水準にあり、また、道路ネットワークの形成も十分に図られておりません。そのため、市内各所で渋滞が発生し、市民生活や経済活動、環境負荷に大きく影響を与えております。

また、大震災から市民の生命と財産を守り、都市機能の低下を防ぐためにも、復旧、復興の大動脈となる道路を一刻も早く整備する必要があります。

特に、東名高速道路と、都心や臨海部を接続する自動車専用道路は、保土ヶ谷バイパスのみとなっていることから、1日あたり約17万台もの交通が集中しております。

そのため、保土ヶ谷バイパスが寸断されると、日常の市民生活や経済活動に大きく影響を与え、また、災害時の場合には、避難、復旧、復興などの大きな支障となることが想定されます。

そこで、横浜の国際競争力を強化し、市民生活の利便性の向上や経済の活性化を図るとともに、災害対応力の強化を図るため、横浜環状南線、北線、北西線などの高速道路や、放射環状型の幹線道路など、体系的な道路ネットワークの整備を推進します。あわせて、道路を安心して利用していただくため、橋りょうの地震対策や長寿命化などに取り組みます。

河川整備については、市民の安全・安心の確保に向けた治水対策の充実に向け、事業を進めています。

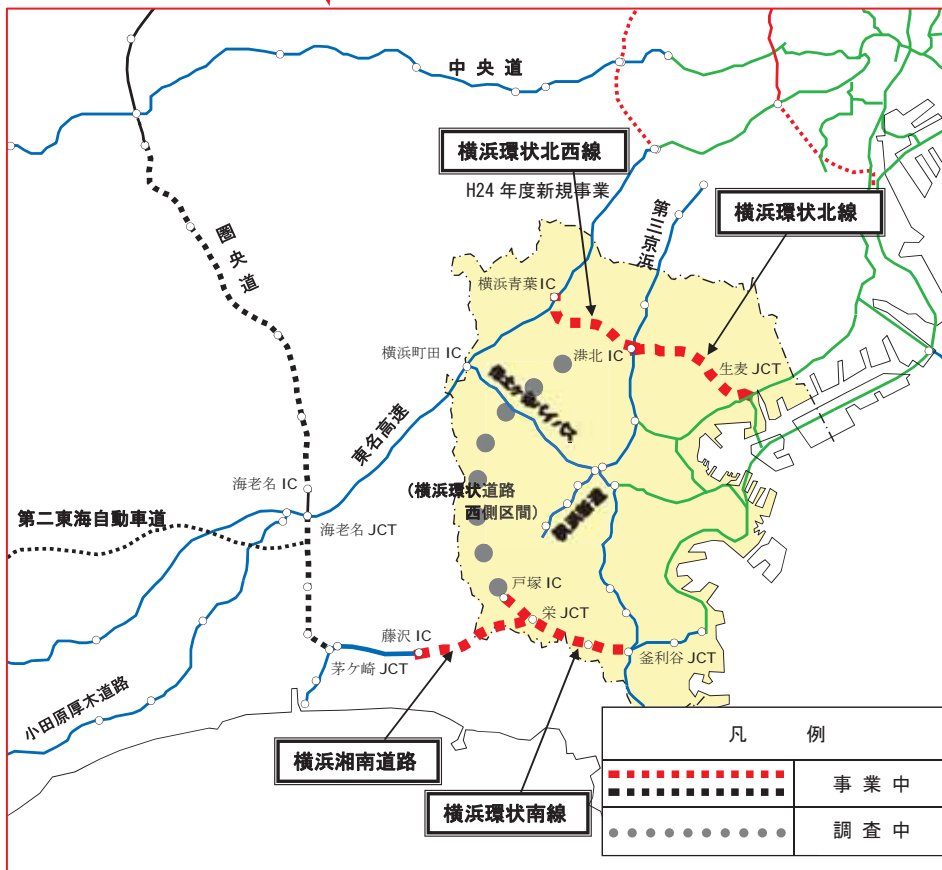
河川整備を進めるにあたっては、昨今増加傾向にある局地的な大雨の発生により、河川や水路の水位が急激に上昇し、市街地の浸水被害のリスクが高まっていることから、河川改修と流域での雨水貯留対策などを合わせた総合的な治水対策を進め、浸水被害の軽減に努めています。

今後も、台風や局地的な大雨から、市民の生命・財産や都市機能を守るため、時間降雨量約50mmの雨に対応できるように、護岸の改修や河川遊水地、河川への雨水流出を抑制する雨水貯留施設などの整備を推進します。

## 2 道路の整備状況について

### (1) 横浜環状道路等の整備

国際コンテナ戦略港湾である京浜港の国際競争力強化、渋滞緩和による環境負荷の低減や災害時における代替ルートの確保など、横浜市はもとより首都圏の道路網の骨格を形成する横浜環状道路（南線・北線・北西線）を中心とした高速道路網の整備を進めています。



## ア 横浜環状南線・横浜湘南道路(一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道))

事業名	事業概要
横浜環状南線	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区間：金沢区釜利谷町(横浜横須賀道路 釜利谷 JCT)～戸塚区汲沢町(国道1号)</li> <li>・延長：約8.9km(うち横浜市域約8.4km)</li> <li>・完成予定：平成27年度(開通年度については検討が必要)</li> <li>・事業者：国土交通省、東日本高速道路㈱</li> </ul> </li> <li>●用地取得率：約74%(平成24年3月末時点)</li> <li>●平成24年度は用地取得及び調査・設計・工事等を実施</li> </ul>
横浜湘南道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区間：栄区田谷町(横浜環状南線 栄 IC・JCT)～藤沢市城南一丁目(新湘南バypass)</li> <li>・延長：約7.5km(うち横浜市域約1.9km)</li> <li>・完成予定：平成27年度(開通年度については検討が必要)</li> <li>・事業者：国土交通省</li> </ul> </li> <li>●用地取得率：約52%(平成24年3月末時点)</li> <li>●平成24年度は用地取得等を実施</li> </ul>



### (ア) 関連街路

- ・ 南線出入口に接続する関連街路(上郷公田線、横浜藤沢線、田谷線)を本市事業として実施中。
- ・ 上郷公田線は、公田地区において切土工事を実施。トンネル工事に早期に着手できるように、用地取得を精力的に進めるとともに、本格的な工事着手に向け、住民説明等を実施する予定。



横浜環状南線・上郷公田線(公田地区)の工事の状況

## イ 横浜環状北線

事業名	事業概要
横浜環状北線	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要               <ul style="list-style-type: none"> <li>・区間：都筑区川向町(第三京浜道路港北JCT) ～鶴見区生麦一丁目(横浜羽田空港線生麦JCT)</li> <li>・延長：約8.2km</li> <li>・事業者：首都高速道路㈱</li> <li>・完成予定：平成28年度</li> </ul> </li> <li>●用地取得率：約99%(平成24年6月末時点)</li> <li>●本線シールドトンネルは、全長約5.5km区間のうち、約3km掘削完了(平成24年6月末時点)</li> <li>●地上部では、平成24年度は港北ジャンクション下部工に着手。鶴見区生麦の鉄道交差部高架橋など全区間で工事中。</li> </ul>



### (ア) 関連街路

- ・ 北線出入口に接続する関連街路(川向線、長島大竹線、馬場出入口、大田神奈川線、岸谷生麦線)を本市事業として実施中。
- ・ 馬場出入口では、平成23年6月から埋蔵文化財調査を実施中。今後、シールドトンネル立坑工事に着工予定。
- ・ 岸谷生麦線の鉄道交差部について、北線本線と一体的に橋梁下部工及び作業構台設置工を実施中。

### (イ) その他

- ・ PCB等有害物質が検出された鶴見区生麦一丁目及び都筑区川向町の現場では、汚染状況確認のための調査・分析を実施中。分析結果に基づき、今後適切に処理。



シールドトンネル施工状況



子安台換気所及び鉄道交差部作業構台施工状況

## ウ 横浜環状北西線

事業名	事業概要
横浜環状北西線	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要               <ul style="list-style-type: none"> <li>・区間：青葉区下谷本町(東名高速道路 横浜青葉 IC・JCT) ～都筑区川向町(第三京浜道路 港北 JCT)</li> <li>・延長：約 7.1km</li> <li>・事業者：横浜市、首都高速道路(株)</li> <li>・完成予定：平成 33 年度</li> </ul> </li> <li>●平成 24 年度は都市計画事業認可を取得(7 月 10 日)し、事業説明会を開催予定(8 月、9 月)。また、調査・設計及び用地取得等に着手。</li> </ul>



※IC・JCT 名称は仮称、施行区分は概ねの位置を示します。

※区間毎の構造形式は概略を示しているため実際とは異なる場合があります。

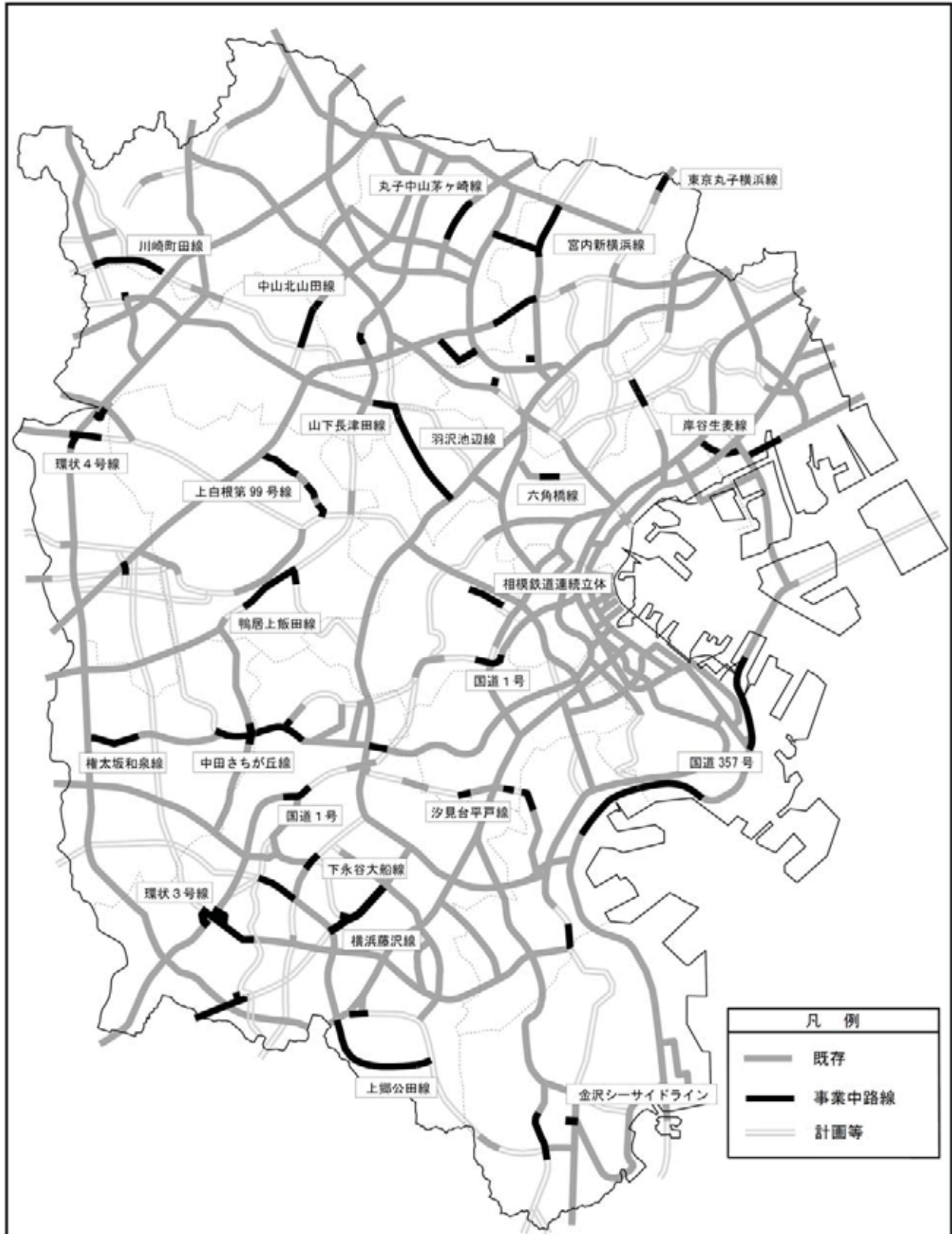
### (ア) 関連街路

- ・ 北西線出入口に接続する関連街路(川向線、川崎町田線)を本市事業として実施。
- ・ 北西線事業説明会の中で、関連街路についても説明予定。(8 月、9 月)
- ・ 調査・設計及び用地取得等に着手。

## (2) 幹線道路の整備

都市の骨格となる放射環状型の道路など、幹線道路ネットワークを形成するため、東京丸子横浜線、中山北山田線、環状3号線、環状4号線、国道357号などの幹線道路の整備を進めています。

### 事業中路線図（幹線道路）





## ア 都市計画道路の整備

### 主な事業中路線

路線名 【地区名】	事業延長	事業概要
岸谷生麦線	約 1.23km	・事業区間：鶴見区岸谷二丁目から生麦三丁目まで ・事業進捗率：約 52% ・横浜環状道路関連街路
六角橋線 【神大寺地区】	約 0.68km	・事業区間：神奈川区神大寺四丁目から六角橋五丁目まで ・事業進捗率：約 88%
汐見台平戸線 【別所地区】	約 0.55km	・事業区間：南区別所一丁目から別所二丁目まで ・事業進捗率：約 81%
横浜藤沢線 【上永谷舞岡地区】	約 0.99km	・事業区間：港南区上永谷町から戸塚区舞岡町まで ・事業進捗率：約 64%
上白根第 99 号線 【上白根一丁目地区】	約 0.50km	・事業区間：上白根一丁目地内 ・事業進捗率：約 30%
東京丸子横浜線 【日吉地区】	約 0.55km	・事業区間：港北区日吉四丁目仲の谷交差点から東横線日吉駅まで ・事業進捗率：約 85% ・供用済み延長：約 0.41 km ・平成 24 年度完了期間宣言路線
宮内新横浜線 【新吉田高田地区】	約 0.96km	・事業区間：港北区新吉田東三丁目からグリーンライン高田駅まで ・事業進捗率：約 64%
中山北山田線 【青砥北八朔川和地区】	約 1.20km	・事業区間：緑区青砥交差点から都筑区グリーンライン川和町駅まで ・事業進捗率：約 89% ・供用済み延長：約 0.37 km
川崎町田線 【田奈地区】	約 0.65km	・事業区間：青葉区田園都市線田奈駅から田奈小学校入口交差点まで ・事業進捗率：約 13%
丸子中山茅ヶ崎線 【南山田大勝田地区】	約 1.91km	・事業区間：都筑区東山田町から茅ヶ崎東 1 丁目まで ・事業進捗率：約 96% ・供用済み延長：約 1.35km
環状 3 号線 【戸塚地区】	約 1.30km	・事業区間：栄区長沼町柏尾川大橋から戸塚区戸塚町まで ・事業進捗率：約 82% ・供用済み延長：約 0.85 km
上郷公田線 【公田地区】	約 1.70km	・事業区間：栄区公田町桂台小学校から桂町交差点まで ・事業進捗率：約 19% ・横浜環状道路関連街路
権太坂和泉線 【和泉地区】	約 1.85km	・事業区間：泉区和泉町から弥生台まで ・事業進捗率：約 54% ・供用済み延長：約 0.78 km
環状 4 号線 【上瀬谷地区】	約 0.45km	・事業区間：瀬谷区瀬谷町から北町まで ・事業進捗率：0%

## イ 国道の整備

主な事業中路線

路線名 【地区名】	事業延長	事業概要
国道357号 (国直轄事業) 【本牧地区・根岸地区】	本牧地区 約 2.3km	・事業区間：中区本牧ふ頭から錦町まで ・平成 24 年度は引き続き橋梁詳細設計、用地取得を推進
	根岸地区 約 3.0km	・事業区間：中区千鳥町から磯子区新磯子町まで ・平成 24 年度は引き続き高架橋上部工等を実施
国道 1 号 (補助事業) 【不動坂交差点】	約 1.1km	・事業区間：戸塚区柏尾町（不動坂交差点前後） ・平成 24 年度は戸塚方面へ向かう下り車線の拡幅工事着手
国道 1 号 (補助事業) 【保土ヶ谷橋交差点】	約 0.8km	・事業区間：保土ヶ谷区岩井町から保土ヶ谷町 2 丁目まで ・平成 24 年度は引き続き東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備計画を検討

## ウ 鉄道と道路の立体交差化

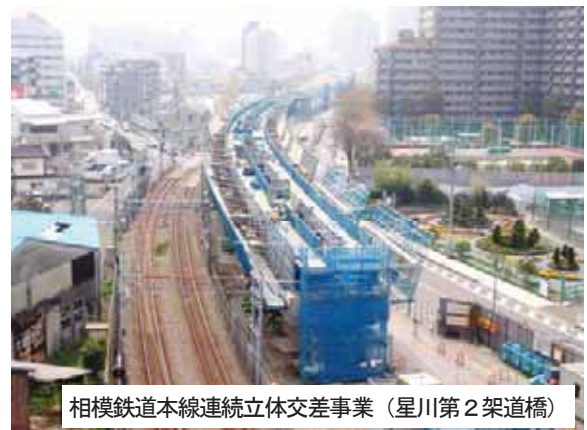
事業名	事業概要
相模鉄道本線(星川駅～天王町駅)連続立体交差事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要           <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備延長：約 1.9km (踏切除却：9 箇所)</li> <li>・構造：鉄道高架方式</li> <li>・完成予定：平成 30 年度</li> </ul> </li> <li>●平成 24 年度は引き続き高架橋工事を実施中</li> </ul>

## エ 金沢シーサイドラインの延伸

事業名	事業概要
金沢シーサイドラインの 京浜急行金沢八景駅への延伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要           <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備延長：約 0.15 km (金沢八景暫定駅から京急金沢八景駅付近)</li> <li>・整備内容：シーサイドライン橋脚、桁、駅舎、駅前広場へのアクセス施設など</li> </ul> </li> <li>●平成 24 年度は引き続き軌道・駅舎等の詳細設計を実施</li> </ul>



国道 357 号 (根岸地区)



相模鉄道本線連続立体交差事業 (星川第 2 架道橋)

### (3) 橋りょうの整備

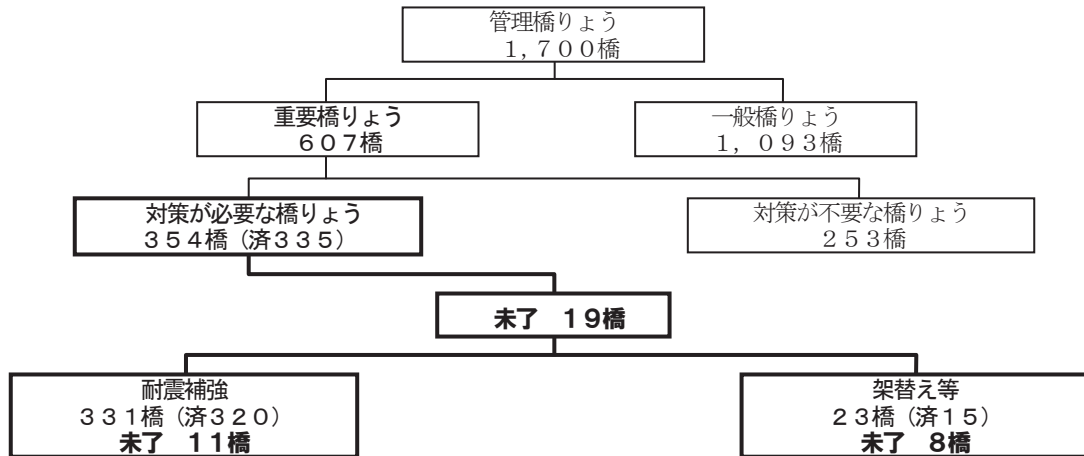
東日本大震災などを踏まえ、災害対応力の強化を図り、地震に強い都市づくりを進めるため、橋りょうの地震対策を積極的に推進しています。

また、老朽橋の架替えや、橋りょうの長寿命化を目的とした計画的な補修を行っています。

#### ア 橋りょうの地震対策

緊急輸送路にある橋や、高速道路・鉄道を跨ぐ橋などの重要橋りょうのうち、地震対策が必要な橋は354橋あります。このうち、平成23年度までに335橋(95%)の対策が完了しており、引き続き、残る19橋の対策を進めています。

現在、11橋の耐震補強を行っており、年度内に完了する予定です。



#### ■耐震補強中の橋りょう (重要橋りょう)

橋りょう名	所在区	橋 下	竣工	事業概要
永田富士見橋	南	首都高速狩場線	S62	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)
清水ヶ丘公園東橋	南	首都高速狩場線	S63	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)
清水ヶ丘公園西橋	南	首都高速狩場線	S63	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)
出逢橋	南	首都高速狩場線	S63	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)
上品濃橋	戸塚	横浜新道	S63	落橋防止装置設置、橋脚補強 (今年度完了予定)
淡島橋	都筑	新横浜元石川線	S54	橋脚補強 (今年度完了予定)
弥生橋	都筑	新横浜元石川線	S55	橋脚補強 (今年度完了予定)
小菅ヶ谷橋	栄	桂町戸塚遠藤線	H9	橋脚補強 (今年度完了予定)
谷戸橋	中	堀川	S2	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)
岡野橋	西	新田間川	S49	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)
中島橋	栄	いたち川	S22	落橋防止装置設置 (今年度完了予定)



## イ 老朽橋の架替え

老朽化等により、現在、8 橋の架替えを行っており、このうち、4 橋が年度内に完了する予定です。

### ■重要橋りょう

橋りょう名	所在区	橋 下	竣工	事業概要
新開橋	中	新山下運河	S8	橋長 26.0m、幅員 13.5m (今年度完了予定)
新浦島橋	神奈川	入江川第二派川	S30	橋長 49.0m、幅員 13.0m (26 年度完了予定)
神戸橋	栄	いたち川	S18	橋長 74.6m、幅員 13.3m (26 年度完了予定)

### 新開橋



### ■一般橋りょう

橋りょう名	所在区	橋 下	竣工	事業概要
江ヶ崎こ線橋	鶴見	JR 貨物	S4	橋長 77.8m、幅員 13.0~16.0m (今年度完了予定)
霞橋	中	新山下運河	S39	橋長 33.0m、幅員 6.0m (今年度完了予定)
井土ヶ谷橋	南	大岡川	S4	橋長 23.6m、幅員 16.0m (今年度完了予定)
天神橋	磯子	堀割川	T15	橋長 30.0m、幅員 16.6m (26 年度完了予定)
大橋	港南	大岡川	S11	橋長 11.0m、幅員 4.0m (25 年度完了予定)

### 霞橋



## ウ 橋りょうの長寿命化

道路局が管理する橋りょう 1,700 橋のうち、全体の約 70%にあたる 1,200 橋が高度経済成長期にあたる 1960 年代からの 30 年間で集中的に建設されました。これまでの事後対応的な維持管理を続けた場合、今後、これらの橋が一斉に更新時期を迎え、架替え費用が大きな財政負担となると予測されています。

### 建設後 50 年以上経過する橋りょうの割合

	平成 22 年度	平成 32 年度	平成 42 年度
横浜市	12%	28%	52%
全国平均※1	8%	26%	53%

※1 全国平均は平成 23 年度国土交通白書より抜粋

道路局では、平成 15 年度に「横浜市橋梁長期保全更新計画検討委員会」を設置し、橋りょうの長寿命化を推進してきました。

平成 20 年度から長寿命化修繕計画※2に基づき補修を行っています。

現在、12 橋の補修を行っており、このうち 3 橋が年度内に完了する予定です。

※2 長寿命化修繕計画：予防保全型の補修内容や優先順位、定期点検時期を取りまとめたもの

### ■補修中の橋りょう

橋りょう名	所在区	橋 下	竣工	事業概要
さちが丘橋	旭	相模鉄道	S49	床版補修（今年度完了予定）
新田間橋	西	新田間川	S2	床版補修、鋼桁補修、支承交換、塗装
本牧橋	中	新山下運河	S43	床版防水、床版補修、塗装（今年度完了予定）
又口橋	港北	鳥山川	S40	床版防水、支承交換、塗装
豊田跨線橋	戸塚	JR 東日本	S47	床版補修、塗装、橋脚補強
浅山橋	西	石崎川	S3	床版補修、鋼桁補修
平潟橋	金沢	侍従川	S40	床版防水、床版補修、桁補修
第二善部跨線橋	瀬谷	JR 東海	S38	F11T ボルト交換、塗装
平沼一之橋	西	帷子川、相模鉄道 JR 東日本	S46	床版防水、床版補修、塗装橋脚補修
磯子橋	磯子	堀割川	S38	パイルベント補強、床版補修、塗装
下永谷側道橋	港南	環状 2 号線	H9	橋脚補修（今年度完了予定）
本牧 A 陸橋、B 陸橋	中	国道 357 号	S44	F11T ボルト交換、塗装



塗装を実施した例  
(新川向橋：港北区)



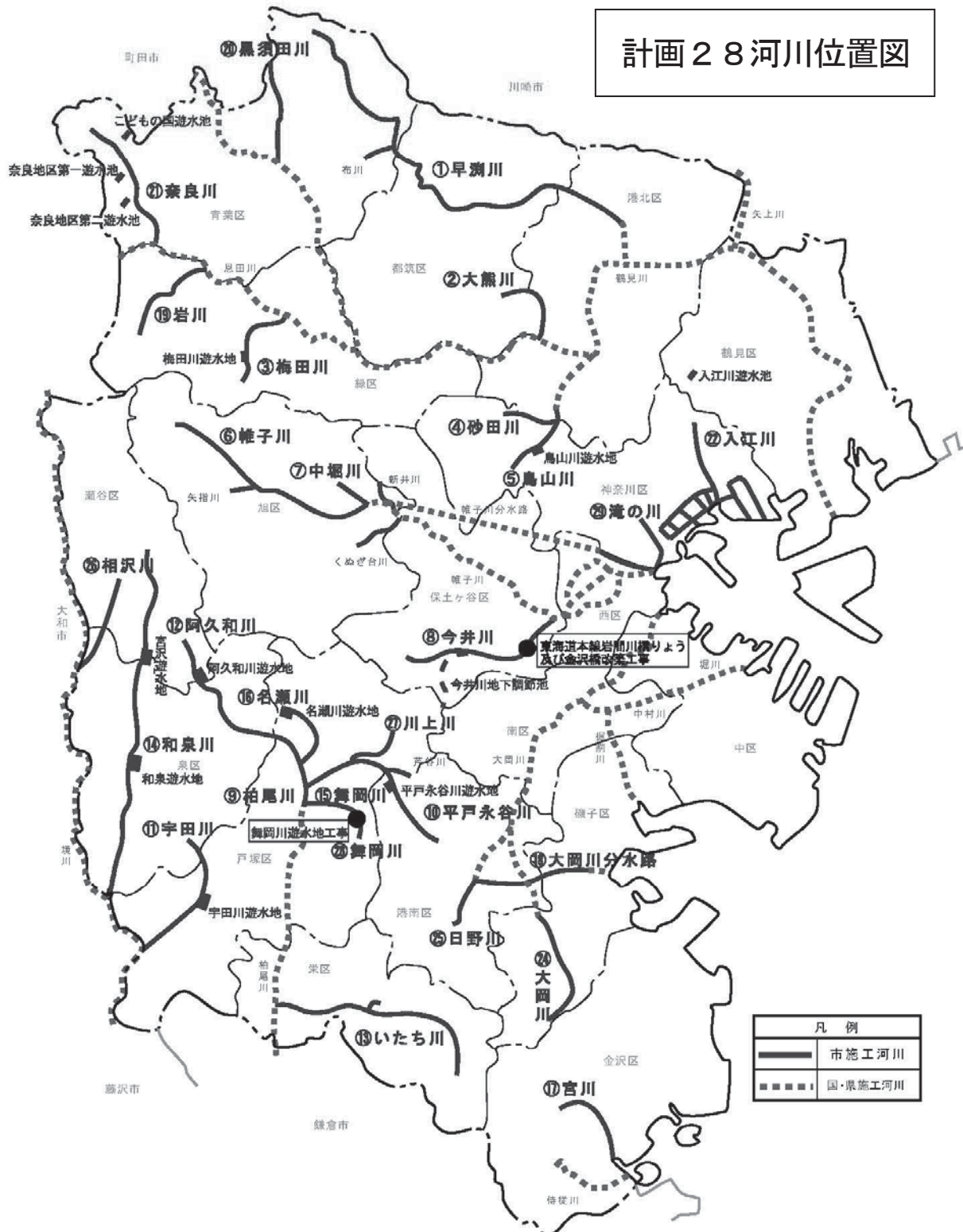
床版補修工事の様子（現在完了）  
(笠間大橋：栄区)

### 3 河川等の整備状況について

本市では、「市民生活の安心・充実」の一環として、河川改修と流域での雨水貯留対策などを合わせた総合的な治水対策を進め、時間降雨量約 50 mmの雨に対応できるよう、河川や河川遊水地等の整備を進めています。

#### (1) 計画28河川の改修

抜本的な治水対策を必要とする中小河川を「計画28河川」として選定し、都市基盤河川改修事業、準用河川改修事業等の実施により浸水被害軽減に努めています。



## ア 護岸等の整備

### ●計画 28 河川の改修状況（計画延長：85.6km、護岸整備率：86.2%（平成 23 年度末））

#### ○都市基盤河川（18 河川、計画延長：68.4km、護岸整備率：90.9%、完了 9 河川）

河川等級	河川名	護岸整備率 (平成 23 年度末)	備考
<b>一級河川</b>	<b>( 5 河川、計画延長 1 6 . 4 km)</b>		
鶴見川水系	①早濑川、②大熊川、③梅田川、④砂田川、⑤鳥山川	100.0%	完了
<b>二級河川</b>	<b>( 1 3 河川、計画延長 5 2 . 0 km)</b>		
帷子川水系	⑥帷子川	67.4%	
	⑦中堀川	78.6%	
	⑧今井川	63.5%	
境川水系	⑨柏尾川、⑩平戸永谷川、⑪宇田川	100.0%	完了
	⑫阿久和川	84.3%	
	⑬いたち川	88.0%	
	⑭和泉川	95.3%	
	⑮舞岡川	98.2%	
	⑯名瀬川	98.0%	
宮川水系	⑰宮川	96.3%	
大岡川水系	⑱大岡川分水路	100.0%	完了
計		90.9%	

#### ○準用河川（10 河川、計画延長：17.1km、護岸整備率：67.3%、完了 5 河川）

河川等級	河川名	護岸整備率 (平成 23 年度末)	備考
<b>準用河川</b>	<b>( 1 0 河川、計画延長 1 7 . 1 km)</b>		
鶴見川水系	⑲岩川、⑳黒須田川	100.0%	完了
	㉑奈良川	96.3%	
入江川水系	㉒入江川	100.0%	完了
滝の川水系	㉓滝の川	100.0%	完了
大岡川水系	㉔大岡川	5.6%	
	㉕日野川	30.6%	
境川水系	㉖相沢川	100.0%	完了
	㉗川上川	2.3%	
	㉘舞岡川	6.6%	
計		67.3%	

※ゴシック太文字の河川名は平成 24 年度に整備等を実施する河川

■主な事業箇所（二級河川今井川）

事業名	事業概要
東海道本線岩間川橋りょう及び金沢橋改築工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区間：保土ヶ谷区岩井町44-3から帷子町2-46まで</li> <li>・事業内容：ボックスカルバート築造(延長：58m)</li> <li>・平成24年度は、ボックスカルバート本体の一部を施工</li> <li>・平成26年度完成予定</li> </ul>

岩間川橋りょう及び金沢橋



イ 河川遊水地等の整備

大雨などで増水した河川の流水を一時的に貯留し、下流河川への流下量を低減するため、河道と一体となった河川遊水地や河川への流出量を調整する上流域での雨水貯留施設の整備を進めています。

《平成23年度末の整備状況》（現計画15か所のうち14か所完成、1か所施工中）

【河川遊水地】10か所

名瀬川遊水地Ⅰ期、梅田川遊水地、和泉川和泉遊水地、鳥山川遊水地、和泉川宮沢遊水地、名瀬川遊水地Ⅱ期、平戸永谷川遊水地、宇田川遊水地、阿久和川遊水地(仮供用)、

**舞岡川遊水地（施工中）**

【地下調節池】1か所

今井川地下調節池

【雨水貯留施設】4か所

こどもの国遊水池、奈良地区第一遊水池、奈良地区第二遊水池、入江川遊水池

舞岡川遊水地



■事業箇所（二級河川舞岡川）

事業名	事業概要
舞岡川遊水地建設工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区間：戸塚区舞岡町567番地の1</li> <li>・事業内容：ポンプ排水型地下式貯水施設、機械室棟築造 (容量約55,000 m<sup>3</sup>)</li> <li>・平成24年度は、ポンプ施設建設、取水堤築造工事 (いずれも平成25年度まで継続)</li> <li>・平成25年度完成予定</li> </ul>



# 高速横浜環状北西線等の事業説明会の開催について ～お知らせ～

## 1 事業説明会の開催について

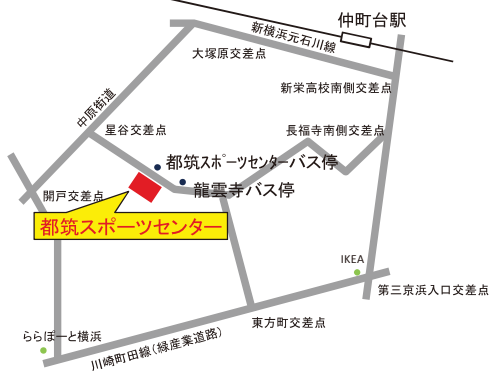
高速横浜環状北西線と関連する街路（川向線、川崎町田線）について、計画の内容や今後の進め方など、事業概要の説明会を行います。（計画の概要は裏面をご参照下さい。）

開催日	時間	会場
平成24年8月29日（水）	午後6時30分～午後8時30分	①都筑スポーツセンター
平成24年8月30日（木）	午後7時～午後9時	②谷本小学校 体育館
平成24年9月2日（日）	午後2時～午後4時	③折本小学校 体育館
平成24年9月3日（月）	午後7時～午後9時	④川和東小学校 体育館

※各日とも同じ説明内容です。事前のお申し込みは不要ですので、ご都合の良い日にご出席ください。  
 ※各小学校には駐車場がありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。都筑スポーツセンターには、常設の有料駐車場（約80台）がありますが、なるべく公共交通機関でご来場ください。  
 ※車いすをご利用されるなど駐車場が必要な方、ならびに手話通訳が必要な方は、お手数ですが、8月20日（月）までに【お問い合わせ先】にある「横浜市道路局 横浜環状道路調整部事業調整課」へご連絡ください。

### 説明会会場案内図

#### ①都筑スポーツセンター 都筑区池辺町2973-1



#### ②谷本小学校 体育館 青葉区藤が丘1-55-10



#### ③折本小学校 体育館 都筑区折本町1321



#### ④川和東小学校 体育館 都筑区富士見が丘21-2

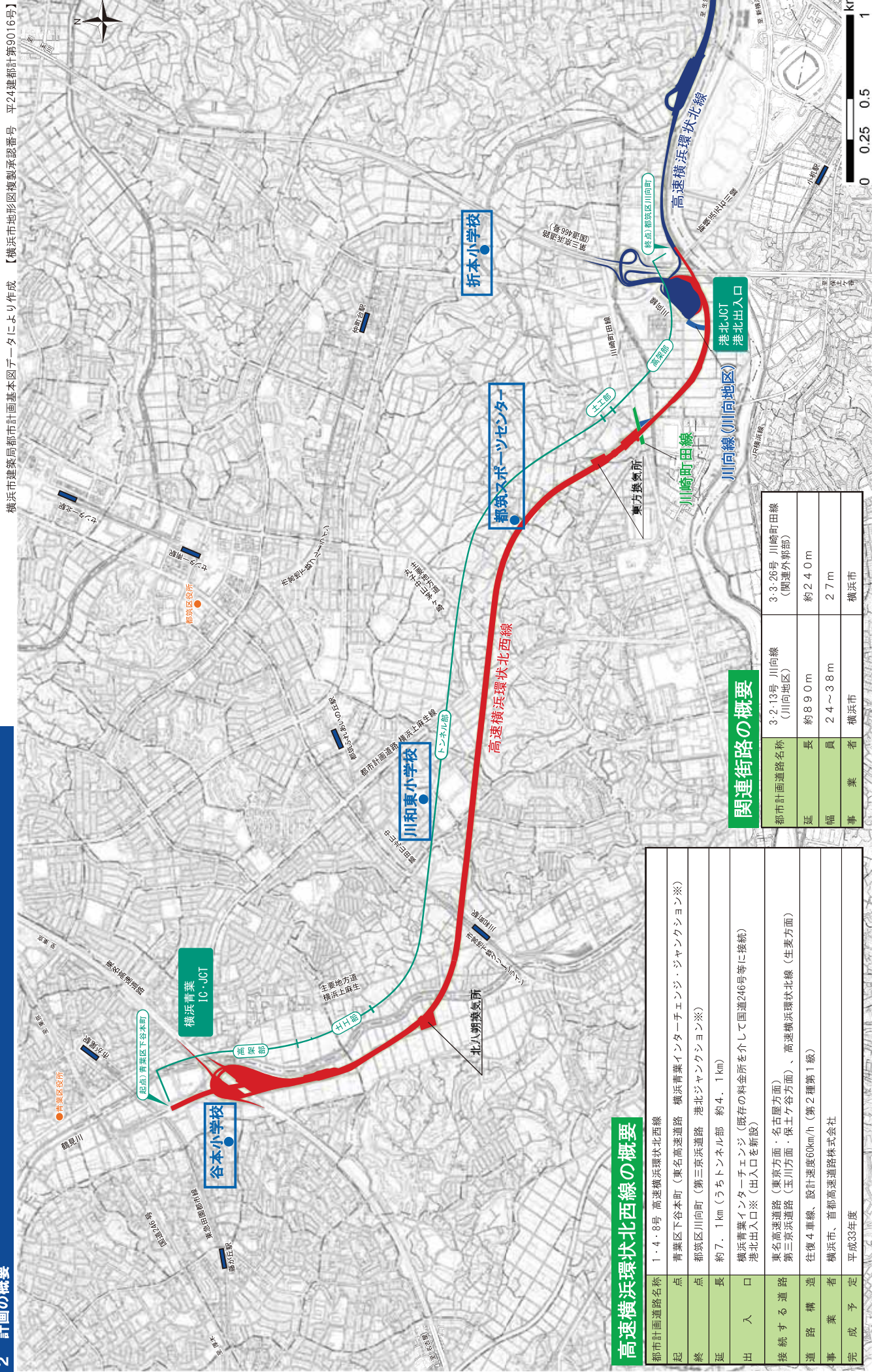


### 【お問い合わせ先】

横浜市道路局 横浜環状道路調整部事業調整課  
 〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
 TEL：045-671-2735 FAX：045-663-6868

首都高速道路株式会社  
 神奈川建設局 調査・環境グループ  
 〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1-2-4  
 TEL：045-439-0749 FAX：045-439-0772

## 2 計画の概要



横浜市建築局都市計画基本図データにより作成 【横浜市地形図複製承認番号 平24建都計第9016号】

### 高速横浜環状北西線の概要

都市計画道路名称	1・4・8号 高速横浜環状北西線
起 点	青葉区下谷本町 横濱青葉インターチェンジ・ジャンクション※
終 点	都筑区川向町 (第三京浜道路 港北ジャンクション※)
延 長	約 7.1km (うちトンネル部 約 4.1km)
出 入 口	横濱青葉インターチェンジ (既存の料金所を介して国道246号等に接続) 港北出入口※ (出入口を新設)
接続する道路	東名高速道路 (東京方面・名古屋方面) 、 高速横浜環状北線 (生麦方面) 第三京浜道路 (玉川方面・保土ヶ谷方面)
道路構造	往復4車線、設計速度60km/h (第2種第1級)
事業者	横浜市、首都高速道路株式会社
完成予定	平成33年度

### 関連街路の概要

都市計画道路名称	3・2・13号 川向線 (川向地区)	3・3・26号 川崎町田線 (国運外郭部)
延 長	約 890m	約 240m
幅 員	24～38m	27m
事業者	横浜市	横浜市

図中の●は説明会の会場です。

※図表中のIC：インターチェンジ、JCT：ジャンクション、出入口、換気所の名称は仮称です。